

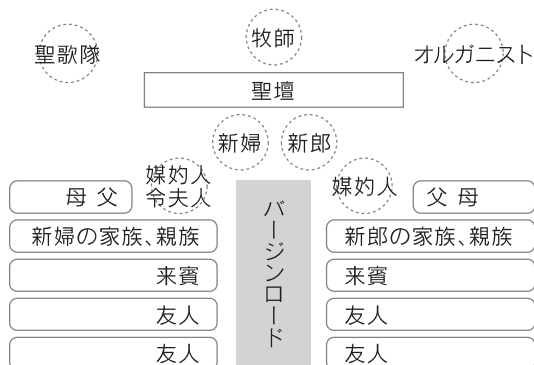
CHAPEL キリスト教式 WEDDING

列席者が賛美歌を歌い、聖書の朗読、牧師の祈祷、誓約などの儀式でおふたりが結婚することを神の前で誓い合う儀式です。NOVARESEプロデュースの会場のチャペルの他にも、信者の方々が挙式を執り行う教会もありますが、基本的にキリスト教の信者でないと挙式を受け入れてもらえません。中には信者でなくても、面談や礼拝、結婚講座などに参加すれば受け入れてくれるところもあります。

教会式次第

奏楽/prelude
 婚約者入場/processional
 賛美歌/hymn#312
 説教/message
 聖書朗読/the scripture reading
 誓約/exchange of vows
 指輪交換/exchange of rings
 結婚証明書/a marriage certificate
 祈祷/wedding prayer
 結婚宣言/pronouncement
 賛美歌/hymn#430
 祝福/the blessing
 新郎新婦退場/recessional

教会式席次例



バージンロードを歩く WALK ALONG A VIRGIN ROAD



父親または新郎は左肘を曲げ、手は軽く握ります。右手には白手袋を持ち、まっすぐ下ろします。腕を組む時、新婦は軽く手を添えるような気持ちで。父親や新郎の腕につかまったり、腕を深く組みすぎるのは美しくありません。歩く際は新婦がバージンロードの中央にくるように、父親または新郎は少し右寄りに。バージンロード上では、右足一歩、揃えて、左足一歩、揃えて、と足をそろえて一歩一歩ゆっくり進みます。

指輪交換 EXCHANGE OF RINGS

相手が肘を曲げて自然に手を伸ばした位置を高さの目安とします。はめる側は右手の中指・人さし指・親指でリングを持ち、左手で相手の手を下からそっと支えながらリングをはめます。手をきつく握りしめたり、自分の顔の近くへ引き寄せすぎたりしないよう注意。当日は緊張しがちですから、指輪交換は事前におふたりで何度か練習しておくことをおすすめします。



ベールアップ GROOM RAISES A VEIL



ベールアップの際は、新婦が姿勢を低くしてあげると新郎がベールを扱いやすくなります。新婦は利き足を軸にしてもう一方の足を半歩引き、背筋は伸ばしたまま膝を曲げます。この時、腰を曲げて低くしようとするととても格好悪い姿勢になってしまうので注意。新郎はベールを後ろ側へ降ろしたらくしゃくしゃにならないように整えてあげましょう。

誓いのキス KISS OF AN OATH

キスは唇、頬、額など、どのスタイルにするかを事前に決めておくスムーズ。新郎は新婦の腕を軽く取って体を支えます。それを合図に新婦は顔をやや上向きに。おふたりの顔を自然に近づければナチュラルなスタイルが実現します。唇から唇へのキスの場合、新郎に口紅が移らないよう、新婦は事前にティッシュなどで口紅を軽くおさえておくとういでしょう。



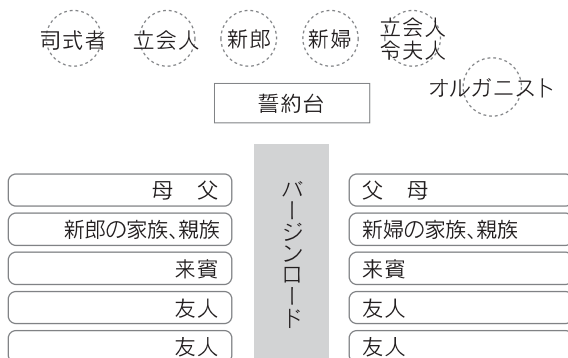
CIVIL 人前式 WEDDING

従来の型にとらわれず、自分たちらしさにこだわった式の進行ができる人前式は、親しい人たちの前で結婚を宣誓する儀式です。しきたりなどよりも、自分たちで考えたオリジナル感覚を重視するカップルに人気です。演出、式次第などすべておふたりで自由にアレンジできます。

人前式次第例

列席者入場・人前式趣旨説明(司式者より)
 新郎新婦(または新婦と新婦父親)入場
 開式の辞(司式者)
 誓いの言葉(おふたりで)
 指輪の交換・披露
 誓いのキス(ベールアップ)
 立会人代表による署名
 結婚証明書の署名(事前に列席者全員の署名)
 披露
 列席者による結婚の承認(拍手)
 成婚宣言(司式者)
 閉式の辞(司式者)
 新郎新婦退場(おふたりで)

人前式席次例



TWELVE ROSES CEREMONY

ひとつひとつに意味を持たせた12本のバラをゲストたちが1輪ずつおふたりに捧げ、誓いと幸福の輪をつなぐとても感動的なシーンです。

TWELVE ROSES 12本のバラの意味

「12本のバラは愛の象徴。この世に存在する愛という不確かなもの。12本のバラは男と女の完璧なまでの愛を表すといえます。ここで誓いをしたおふたりの愛を完璧なものにするために、おふたりに12本のバラを贈ります。」

感謝のバラ／誠実のバラ／幸福のバラ
 信頼のバラ／希望のバラ／愛情のバラ
 情熱のバラ／真実のバラ／栄光のバラ
 努力のバラ／永遠のバラ／尊敬のバラ



ブーケ・ブートニア伝説

その昔ヨーロッパでは結婚を申し込むときに男性は野の花をつんで花束を作り女性に渡したとか。女性はプロポーズを受ける時、その花束の一輪を抜き、男性の胸元に挿したのがブートニアの始まりと言われています。オリジナル人前式ではこのブーケ伝説を式の中で再現するロマンチックな演出も人気です。新郎は入場の際、列席者に渡してある花を受け取りながら祭壇へ向かい、リボンで束ねてブーケにします。その後、新婦に向かい、列席者の前でプロポーズの言葉と共にブーケを渡します。新婦はその中から一本を抜き取りプロポーズの返事と共に新郎の胸元に挿します。

結婚承認花束

列席者みなさまに参加していただき、アットホームな人前式をご希望の方におすすめなのが、結婚承認花束です。挙式前に色とりどりの花をゲスト全員に一本ずつ渡しておき、『列席者による承認の拍手』の代わりに列席者の持っている花を新郎新婦に承認の証として渡していただきます。みなさまの温かい祝福の中、両腕には色とりどりの花を抱え退場するシーンは華やかでとてもアットホームです。

CIVIL 人前式 誓いの言葉 WEDDING

文例 1

私たちふたりは本日、皆様方を証人として結婚式を挙げる事ができ、誠に幸せに思います。これからはお互いに支え合い、助け合い、そして、励まし合って、明るく楽しい家庭を築くことをここに誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 2

私たちは、本日ここにご列席の皆様の前で結婚式を挙げます。これからは、永遠に変わることなく幸せなときも困難なときも心をひとつにして乗り越え、楽しく明るい家庭を築いていくことを皆様の前で誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 3

本日私たちは、ご列席の皆様の前で夫婦になることを宣言いたします。これからは思いやりの心を忘れずにお互いを大切に思い、感謝し、尊敬しあえる夫婦になるよう努力して参りたいと思います。今日まで育んできた愛情をさらに高め、明るく清い家庭を築いていくことを誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 4

私太郎は、花子を妻とし、生涯変わることなく愛することをここに誓います。

私、花子は太郎を夫とし、生涯変わることなく愛することをここに誓います。私たちはこれからふたりで力を合わせて温かく幸せな家庭を築いていくことを誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 5

私たちふたりは今、皆様の前で夫婦となり、新しい出発を宣言いたします。今日より心をひとつにして助け合い、楽しいことも、苦しいことも分かち合い、あと数カ月で誕生する子供のためにもいつまでも仲良く、明るい、思いやり溢れる家庭を築くことを誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 6

新郎: 私は、本日皆様方を証人として結婚式を挙げる事ができ、とても幸せです。これからは、ふたりで力を合わせて幸せな家庭を築き、花子さんを妻として生涯、愛し続けることを誓います。

新婦: 私は、今日より太郎さんを夫として心をひとつにし、お互いに助け合い、生涯のパートナーとして、愛し続けることを誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 7

私たちふたりは、今日のよき日に、皆様の前で誓いあつて結婚をいたします。この広い世の中に終生のパートナーとして選び選ばれましたことをとても幸せに思います。今日より心をひとつにして深い理解と愛情と誠実とをもって夫婦の道を守り、苦楽をともにし平和な生活をいとなんで子孫繁栄のみちをはかり、終生ふたりの愛情の変わらぬことをお約束いたします。何とぞ末長く見守ってくださいようお願いいたします。ここに謹んで誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

文例 8

新郎: 私は貴方に出会えて、とても幸せです。これまでも貴方の笑顔や励ましで頑張ることができました。これからも私の側で私を助けてください。立ち会っていただいている皆様の前で、私は貴方に3つの約束をします。

- 一、給料はすべて渡します。
 - 一、家事や育児は一生懸命手伝います。
 - 一、ディズニーランドへ連れて行きます。
- 以上3つの約束を必ず実行します。

新婦: 私は貴方に出会えて、とても幸せです。これまでも貴方の包容力やユーモアで何度も助けられました。これからも私を守ってください。立ち会っていただいている皆様の前で、私は貴方に3つの約束をします。

- 一、お料理が上手くなるよう努力します。
 - 一、やりくり上手になります。
 - 一、友達と飲みに行っても怒りません。
- 以上3つの約束を必ず実行します。

おふたりで: 今、私たちふたりは、皆様の前で結婚いたします。今の気持ちをふたりで大切に素晴らしい家庭を作ることを誓います。

〇〇〇〇年〇月〇日
新郎 山田太郎
新婦 佐藤花子

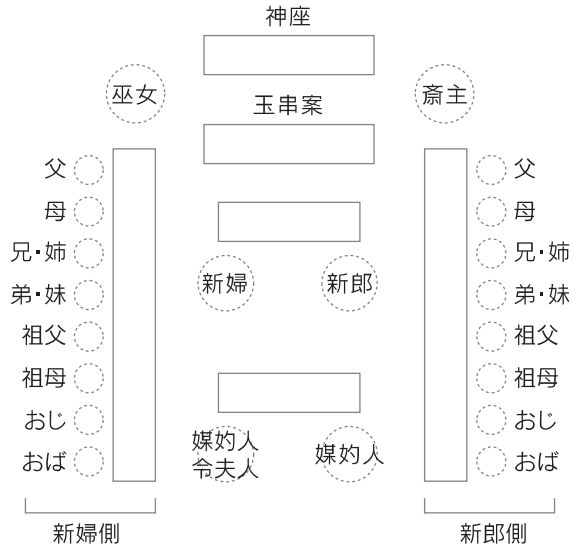
TRADITIONAL 神前式 WEDDING

日本の伝統的な家と家をつ結びつける儀式です。斎主の祝詞から三三九度など、おごそかな神前式は、最後に両家の列席者が御神酒を飲み干す家族杯の儀を行います。一般的に神前式には両家の家族や親族以外は列席できないと思われがちですが、最近は友人など親しい方の列席を希望される方も増えています。

神前式次第

- 修祓の儀
- 祝詞奏上
- 三献の儀
- 誓詞奏上
- 新郎新婦玉串奉奠
- 代表玉串奉奠
- 指輪交換
- 親族盃
- 斎主挨拶

神前式席次例



玉串奉奠の際、玉串を神様に捧げる際の作法・ポイントは



(E)
巫女が「榊の枝」を持ってきますので受け取ります。受け取り方は、右手で枝の根元を上から押さえるように掴み、左手は手のひらを上にし、葉の辺りを下から添えるようにします。受け取った玉串の奉納の仕方は、まず両手で枝の根元を持ち、体の正面で立てるようにします。



(F)
右手で枝の中ほどの幹の部分を持ち、枝の根元を神殿のほうに向けて時計回りに回します。



(G)
左手を下から添え、右手も同じように下から添え、両手の指を伸ばし、玉串を両手の手のひらに乗せる状態から、捧げるように差し出し、玉串案に捧げ置きます。

(H)
終わったら二拝二拍手1拝してご神前をしりぞぎます。

BUDDHIST 仏前式 WEDDING

仏の導きに感謝して、来世まで連れ添う夫婦であることを誓う儀式で、先祖代々の菩提寺や自宅の仏前の前に僧侶を招いて行うのが一般的です。指輪の交換のかわりに、念珠(数珠)の授与の儀と、僧侶の法話が仏式の特徴的な式次第です。神前式の三三九度にあたる誓杯の儀の後、列席者全員に杯が配られ、飲み干したあと一同揃って仏前に合掌する、家族固めの祝杯の儀で挙式が完了します。挙式当日に実家と嫁ぎ先の仏前にお参りすることもあります。仏前結婚式の式次第は、宗派によって、形式も多少異なります。

仏前式次第

入堂(列席者のあと、新郎新婦、媒酌人夫妻)

入堂(僧侶)

敬白文朗読(司婚者が先祖の霊におふたりの結婚を報告)

念珠授与(新郎に白い念珠を、新婦に赤い念珠を司婚者が授与する)

司婚の辞(司婚者が誓いの文を読み、新郎新婦に誓いを求める)

焼香(念珠を左手に持ち、右手で焼香する)

誓杯(三三九度を行う)

親族杯

司婚者祝(仏教における結婚の意味の話)

合掌礼拝・退堂

仏前式席次例

